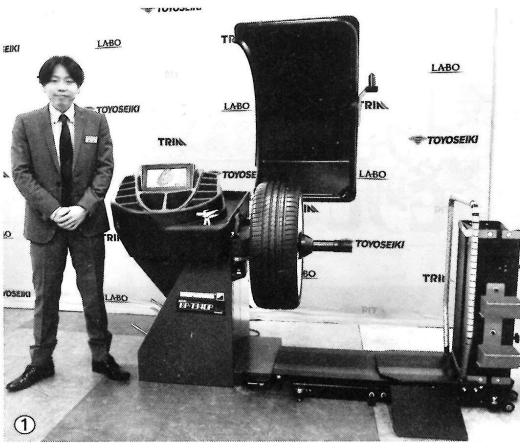


整備機器

新商品

東洋精器工業(株) 乗用車用ホイールバランサー 「トリム BP-7340P」



東洋精器工業株式会社(兵庫県宝塚市、馬形ゆかり社長)は、乗用車用ホイールバランサーの新製品「TRIM(トリム) BP-7340P」を上市し本格販売を開始した。解説と実演デモを担当する細目玲(ほしめ れい)さんは営業部門の担当を経て現在の商品企画部第二課長に兼任した。営業所勤務時代、タイヤ整備の現場でユーザーボイスをダイレクトに聞いてきた経験が豊富。機器に求められる「ベスト」とは「どういうものなのかを強く実感する。そのようなユーザーの声を反映し、新製品は企画化された。

新製品は「BP-7300P」の後継モデルとして開発。同社乗用車用ホイールバランサーのハイクラスモデルに位置付けられる。外観デザインを大きく変更した。ボディカラーを赤から、つや消しのグレーへ。上級機種にふさわしい高級感を演出した。本体にはアルファベットの「Z」を想起させる「Zフォルムデザイン」を採用。機器の操作性を追求し

上級機種にふさわしい機能を満載

ながら、先進的なヒット空間への調和を図っている。

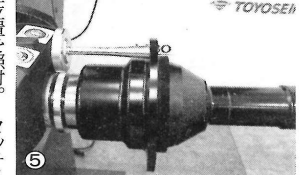
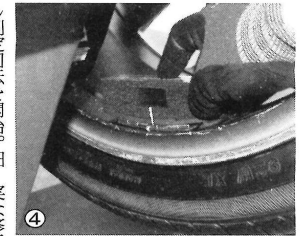
バランサー作業のメニューをはじめとする各種の操作はタッチスクリーンタイプとした。従来機種はキーボードで入力していたが、新製品はスマホやタブレット端末と同様、ディスプレイ画面にタッチ操作する。「ワイドタッチスク

をバランサー主軸の径中心に照射しセンターリヤ点検記録として、ユーザーに提示することができ、作業のマネタイズ創出にも寄与する。

細目さんは、リフトの機能を活用しタイヤ・ホイールのセンターリングを合わせ、リフトアップレートをスライドさせ「BP-7340P」の主軸に取り付ける。クランプ装着は電動パワークランプシステムだ。誰でもスピー

測定回転を開始。細目さんは「従来の全自動入力よりもさらにひと手間を省いた。作業効率の向上に貢献する。上級機種らしい機能」と述べる。

測定精度がキープされる。作業時に同社オリジナル「ウエイトセッティング」を併用すると、微妙な位置ズレを防止し、残留アンバランスの解消に一層効果的だ。使用する貼



を固定することを可能にした。操作はタッチスクリーンメニューで選択しイラストに従って操作をするだけ。始業前点検では常に高い精度を維持し、高品質のバランス作業を提供することができる。

高い精度と操作性の向上を実現

ラインの採用により、直感的な操作できるようになったと、細目さんは説明する。広く大きな画面なので、見やすく、指先での操作もしやすい。作業の進め方についてはユニバーサルデザインの考え方によりイラスト表示を多く用いた。輸入品だが、言語設定を日本語表記のモードにすることができ国内での実用性と操作性を向上した。

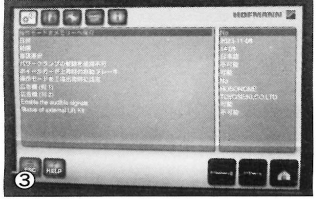
「TRIM BP-7340P」の実演デモに際し、バランサー専用タイヤリフト「B02B」(オプション機器)を連結した。重量のあるタイヤ・ホイ

「BP-7340P」には「スマートソナー」を採用した。標準装備のタイヤガードを閉じるとリフト幅を自動計測

オートストップ機能は設定によりOUP側の位相付近での停止や機能自体的キャンセルも可能という。

「BP-7340P」には「スマートソナー」を採用した。標準装備のタイヤガードを閉じるとリフト幅を自動計測

また、WiFi機能を搭載。ピットを經由し会社や店舗のプリンターでバランス修正前後のデータをプリントアウトすることを



「BP-7340P」には「スマートソナー」を採用した。標準装備のタイヤガードを閉じるとリフト幅を自動計測

位置を最も振動を起す状態に組み合わせる「マッチング機能」や、ホイールサイズを損なわないように隣接するスポットの裏に2分刻で修正する「レハインド機能」を搭載した。アルミ内面修正モードでは、正モードでは、レーザラインではなく本機に搭載のレーザーポインターが確

「BP-7340P」の適用リフト幅は3〜20インチ。適用リフト径は8〜32インチ。(写真上から、①細目課長と「BP-7340P」②直感的に操作可能なワイドタッチスクリーン ③日本語表記画面 ④レーザーポインターで照射された修正位置 ⑤簡易較正モードを操作中)